

## 平成30年度 第3回 広島県立大崎海星高等学校活性化地域協議会 議事要旨

【日 時】 平成31年3月22日（金）15:00～16:00

【場 所】 広島県立大崎海星高等学校

【出席者】（敬称略，50音順）

石田 修次，伊場田 真彦，越田 賢一，小林 弘志，高田 幸典，取釜 宏行，中原 健次  
（委員7名）

國藤 生美，槌井 佑太（県教育委員会事務局2名）

### 【議事概要】

#### 1 開 会

○校長挨拶 ○会長挨拶

#### 2 説 明

「高校魅力化」の取組について

##### ➤ 風景印について

・本校の生徒が地元郵便局の風景印のデザインを考案し4種類作成した。大きな反響があり大崎上島のPRに貢献できた。

##### ➤ 県立広島大学と「レモンのレシピ・大崎上島の収穫支援」において，大学生と海星高校の生徒が交流を行っているが今後も継続するのか。

・今年度が初めての取組で，海星バーガーをふるまったり，返礼品の詰め込み作業の手伝いを行った。来年度も実施予定なので，今年度の課題を整理して継続できるように取り組む。

##### ➤ 大学生との交流をどのように進めているのか。

・今年度，広島大学，県立広島大学等大学生との交流を行ってきた。生徒にとっても大学生から多くの刺激が受けられるので良い機会となっている。



#### 3 協 議

##### (1) 活性化策について

##### ➤ 現段階では生徒数を確保することができているが，今後はさらに少子化が進んでくる。学校の活性化に向けてどのように取り組んでいくか。

・他校との交流や生徒が活動する場を増やすとともに，「100の職種プロジェクト」のように生徒が自分で計画・実施する取組も進めていく。

・みりよくゆうびん局や地域プロジェクト等により活動的な生徒は増加しつつある。取組を継続することにより，生徒全体に広げる。

・学校魅力化は始まったばかりで結果はすぐに出ない。焦らず地道に取り組むべきである。



#### 4 まとめ

#### 5 閉 会

○会長挨拶

※本協議会は，公開としております。